

研究機関：広島大学

研究課題名	経子宮頸管的針生検による子宮肉腫術前診断の確立
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科 産科婦人科学 教授 工藤 美樹
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 2024 年 3 月 31 日
対象者	<p>(1)選定期間：2006年7月～2023年3月</p> <p>(2)選定基準：広島大学病院において、子宮肉腫が疑われ、診療の一環として経子宮頸管的針生検を施行した患者もしくは施行する患者さん。</p>
意義・目的	<p>本院では、外来で子宮筋腫・子宮腺筋症と診断された患者さんに、針生検という方法を用いて術前にできる限り正確な診断を行っています。本研究はこの検査による子宮肉腫の術前診断法の確立と良性腫瘍に対する子宮温存療法を支援することを目的としています。</p>
方法	<p>本研究は、対象患者さんの情報を診療録より集め、経頸管的針生検で採取した組織に対して子宮筋腫様病変針生検専用の病理組織判定方法を用いた診断結果と、術後摘出標本の永久病理組織結果を比較検討し、針生検での子宮筋層内腫瘍の術前診断の有効性を検討します。後方視的にも検討します。</p> <p>カルテから使用する内容は年齢、身長、体重、月経歴、妊娠歴、合併症、血液検査（LDH, CRP, CBC, CA125, CA19-9）、画像検査結果、子宮筋層内腫瘍の状態・過去の治療歴、針生検による合併症の評価です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	ありません。
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>

問合せ・苦情等の窓口